

目次

概要

[エラー「IDS_ACCESS_FORBIDDEN」はどのようなことを意味しますか。](#)

概要

アクセスがエラーメッセージ「IDS_ACCESS_FORBIDDEN」となぜブロックされるかこの資料に、BLOCK-WEBCAT」記述されています。

エラー「IDS_ACCESS_FORBIDDEN」はどのようなことを意味しますか。

環境： Cisco Web セキュリティ アプライアンス (WSA)、 AsyncOS バージョン 6.0 および それ以降、有効になる データ フィルタ

症状： Webサイトおよびユーザのファイル/資料をアップロードすることが不可能このエラーメッセージを受け取って下さい。 エラーメッセージはある特定の Webサイトにログインしている間見られます。

AsyncOS バージョン 6.0 および それ以降はデータセキュリティ (IDS) フィルタと呼ばれる新しい 機能を提供します。 IDS 機能は WBRs スコア、URL カテゴリ、またはファイルサイズに基づいてある特定の Webサイトのブロッキング ファイル アップロードで助けます。

ファイル アップロードがアクセスがブロックされたことを通知 メッセージ IDS_ACCESS_FORBIDDEN は、示しますデータセキュリティ ポリシー 設定に基づいて。

更に、BLOCK-WEBCAT コードは特定の URL カテゴリが**ブロックするために設定されたことを示します**：

GUI -> Security サービス-> Cisco データセキュリティ

これらのメソッドのどちらかの使用によってアクセスを許可できます：

IDS ポリシーのアクセスを監視して下さい

1. GUI の下-> Web セキュリティ マネージャ-> Cisco データセキュリティ
2. **監視するために特定の URL カテゴリを設定して下さい**
3. 変更を送信し、保存します。

カスタム URL カテゴリを使用してアクセスを許可して下さい

1. GUI の下-> Web セキュリティ マネージャ-> カスタム URL カテゴリ

2. Webサイトに対するカスタム URL カテゴリを作成して下さい (example.com、.example.com のような両方のドメインを含んで下さい)
3. GUI の下-> Web セキュリティ マネージャ-> Cisco データセキュリティ
4. **監視するために**上記のカスタム URL カテゴリを設定して下さい
5. 変更を送信し、保存します。

注意点：

AsyncOS バージョン 6.3 および それ 以降で、Webサイトはまたダイナミック コンテンツ 分析 (DCA) エンジンによって分類できます。 -> Security サービスことを DCA が GUI の下-> 受諾可能な使用制御有効になるかどうかを確認するために、確認して下さい

DCA が有効になる場合、[門脈サポート](#)の実際の Webサイト分類を確認し、アクセスを許可するのに第 2 方式を使用して下さい。